

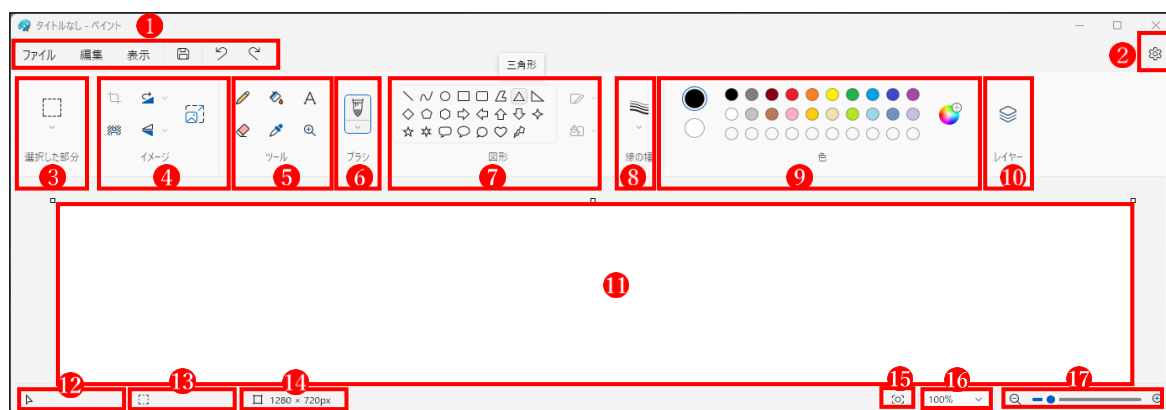
## 新ペイントの使い方

Windows11 に搭載されている「ペイント」アプリに、「背景の削除」や「レイヤー機能」が追加され、従来より大幅に使い勝手が向上しました。そこで、ここでは追加された新機能も含めてあらためてペイントアプリの便利な使い方を学習しましょう。

### 1 新ペイントの画面構成

新ペイントの画面構成は、新しい機能が追加されたこともあり、従来のものからかなり変更されています。

#### <各部の名称と機能>

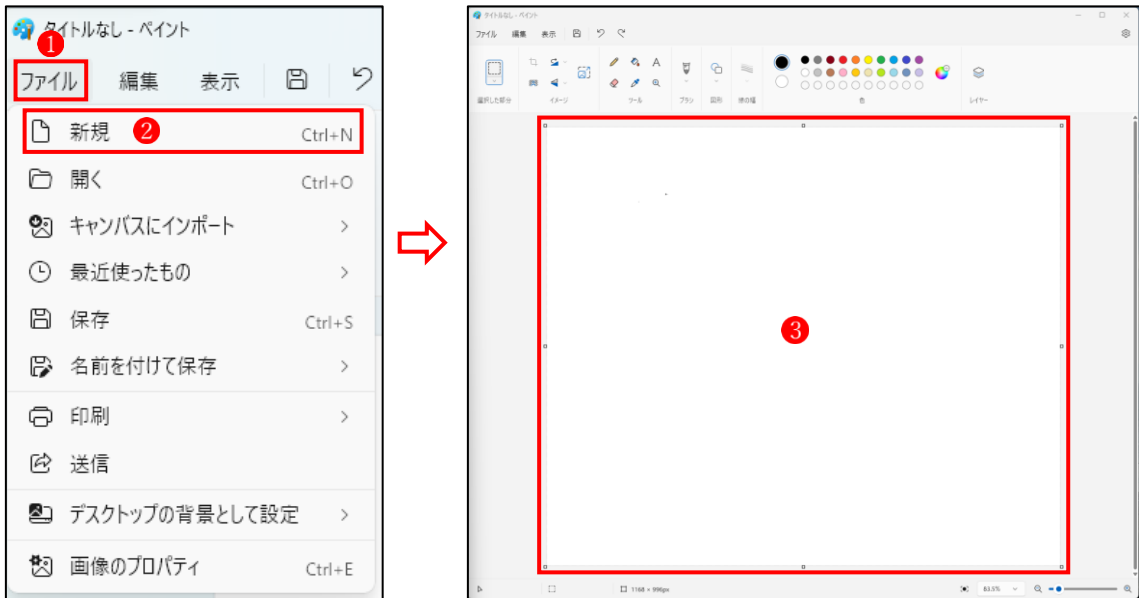


- ① メニュータブとクイックアクセスツールバー
- ② 設定 画面モード（ライト・ダーク・システム設定）を選択できます。
- ③ 選択した部分 画面の一部や透明部分を選択するためのツールです。
- ④ イメージ 画像の編集に使用できるツールが5つ用意されています。
- ⑤ ツール テキスト作成や塗りつぶし、消しゴムなどのツールが用意されています。
- ⑥ ブラシ 9種類のブラシが用意されています。
- ⑦ 図形 23種類の図形が作成できます。
- ⑧ 線の幅 4種類の線の幅が用意されています。
- ⑨ 色 あらかじめ用意されている色から選択でき、自分の好きな色を作成することもできます。
- ⑩ レイヤー レイヤーの追加、レイヤーの統合などのレイヤー機能が使えます。
- ⑪ キャンバス 画像の編集をしたり、図形や絵を描画する場所です。
- ⑫ 座標表示 マウスポインターのある位置を表示します。
- ⑬ 選択範囲 選択ツールで選択している範囲を表示します。
- ⑭ キャンバスサイズ キャンバスのサイズを表示します。
- ⑮ ウィンドウに合わせる キャンバスをウィンドウに合わせて拡大・縮小します。
- ⑯ キャンバスのサイズを数値で拡大・縮小します。
- ⑰ キャンバスのサイズをスライダーをドラッグして拡大・縮小します。

## 2 キャンバスの設定方法

### (1) キャンバスのサイズを設定する

- ① 「ファイル」タブ①から「新規」②をクリックします。キャンバスが開きます③。



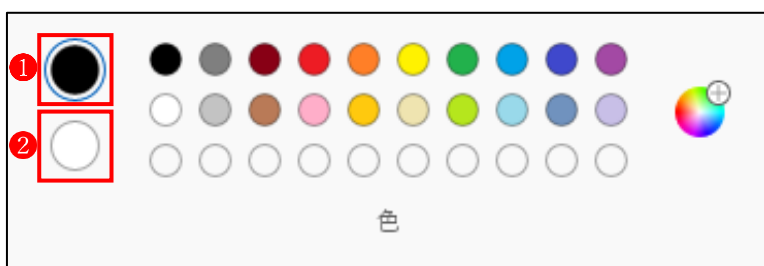
- ② 「ファイル」タブ④から「画像のプロパティ」⑤をクリックします。  
→「イメージのプロパティ」ウィンドウ⑥が開きます。



- ③ キャンバスのサイズを変更したいときは、「幅」と「高さ」⑦の数値(px)を変更します。  
ここで「既定」⑧のボタンをクリックすると、ディスプレイの解像度に応じたサイズが設定されます（※解像度 1920×1080px の場合は 1152×648px になります）。  
最後に「OK」⑨をクリックするとキャンバスサイズが変更されます。次回、「ファイル」→「新規」をクリックすると、ここで設定したキャンバスサイズで開くようになります。

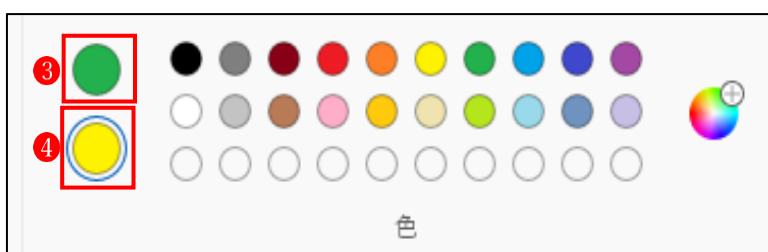
## (2) キャンバスの背景色の設定

- ① キャンバスの背景色は、デフォルトでは色グループの「色2 (背景色)」(デフォルトは「白」)<sup>②</sup>が設定されています。



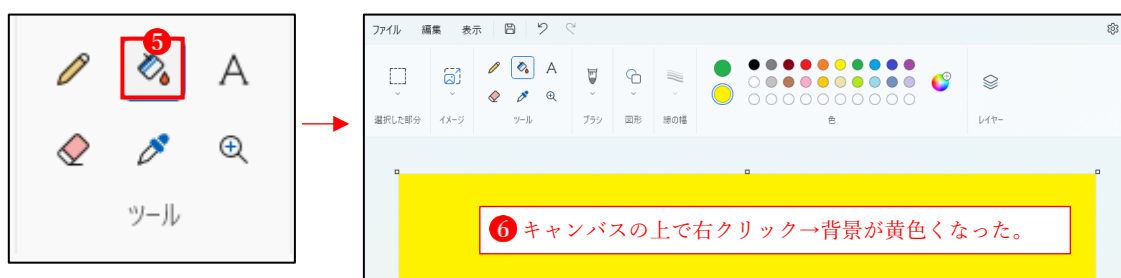
なお、「色1 (前景色)」<sup>①</sup>にはデフォルトで「黒」が設定されています。

- ② キャンバスの背景色を変更するには、まず、「色2 (背景色)」に背景色にしたい色を設定します。色の設定は、まず「色2」をクリックしてオン状態にし、続いて右側の色から好みの色をクリックすることにより行います (ここでは、「色2」に黄色を設定してみました。)<sup>④</sup>

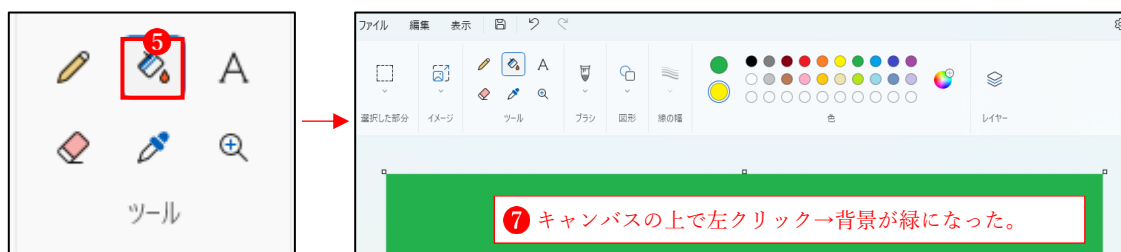


なお、「色1 (前景色)」にも同様の方法で別の色を設定することができます (ここでは、「色1」に「緑」を設定してみました。)<sup>③</sup>

- ③ 「ツール」グループの「塗りつぶし」<sup>⑤</sup>をクリックし、続いてキャンバスの上で「右クリック」します。→キャンバスの背景が「色2 (背景色)」の色に塗りつぶされます<sup>⑥</sup>。



なお、「塗りつぶし」<sup>⑤</sup>を左クリックすると、キャンバスの背景が「色1 (前景色)」の色に塗りつぶされます<sup>⑦</sup>。



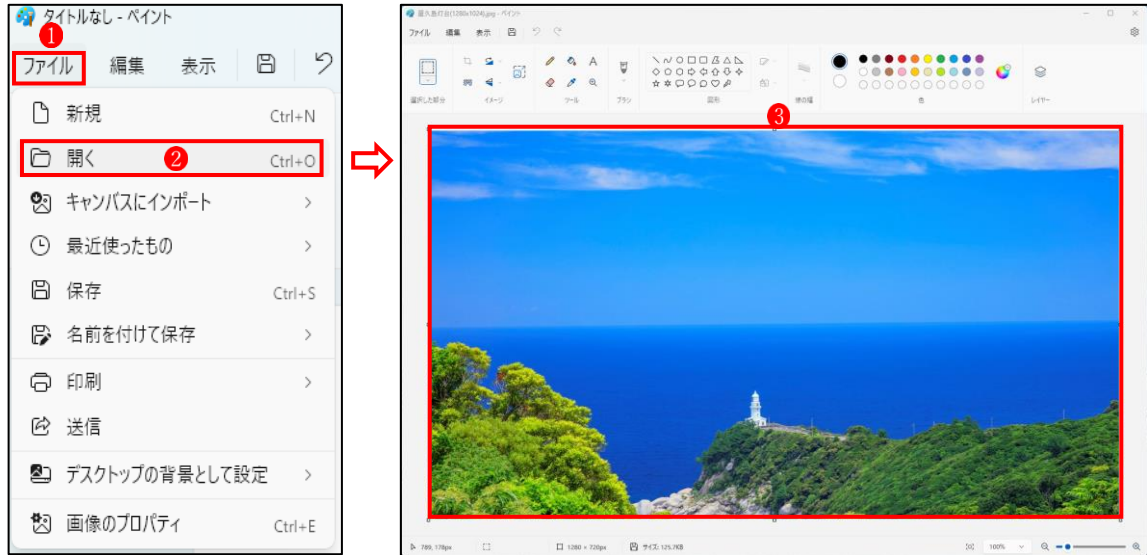
### 3 画像の編集

#### (1) ペイントに画像を取り込む

ペイントに画像を取り込む方法は3通りあります。

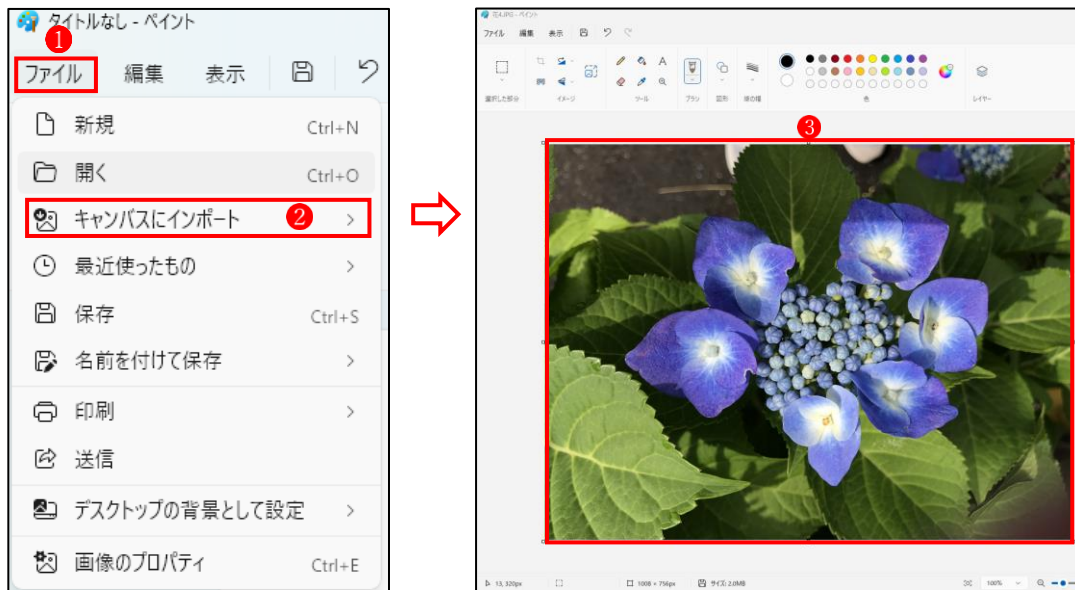
- ① 「ファイル」タブ①から「開く」②をクリックし、ファイルが保存されているフォルダーからファイルを指定して読み込みます。

画像がペイントに読み込まれます③。



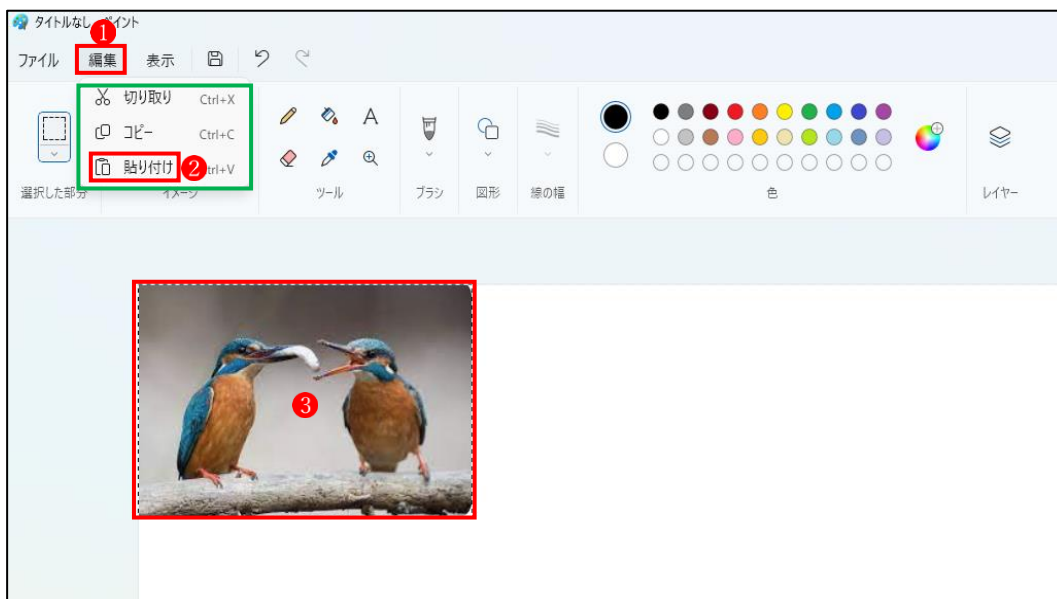
★ この場合は、ペイントで画像を編集してから「保存」すると、元の画像が編集された状態で上書き保存されます。

- ② 元の画像を変更したくない場合は、「ファイル」タブ①から「キャンバスにインポート」②をクリックし、ファイルが保存されているフォルダーからファイルを指定して読み込みます。→画像がペイントのキャンバスに読み込まれます③。



★ この場合は、ペイントで画像を編集した後は「名前を付けて保存」します。

- ③ 「Print Screen」や「Snipping Tool」を使って、画面やその一部をコピーしてから、ペイントのキャンバス上で一度クリックし、「編集」タブ①の「貼り付け」②をクリックすると、キャンバス内にコピーした画像を貼り付けることができます③。



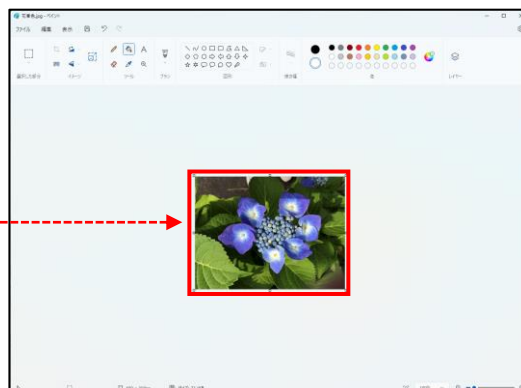
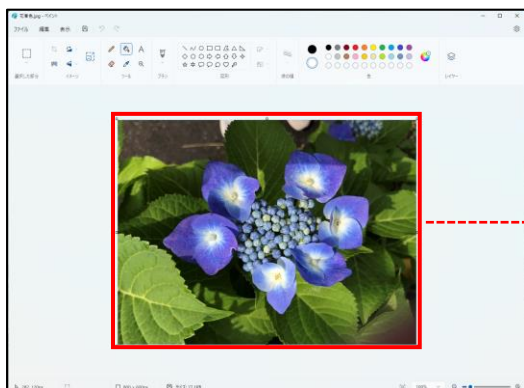
## (2) 画像のサイズ変更

ペイントに取り込んだ画像のサイズを変更するには、「イメージ」グループの「サイズ変更と傾斜」①から行います。

- ① サイズ変更の「単位」②を選択します。
- ② 「縦横比を維持する」③を「オン」にして④おきます。
- ③ 「水平」の数値を変更（ここでは50%）し⑤、「OK」⑥をクリックします。

★「垂直」⑤は自動的に「水平」と同じ数値に変化します。

- ④ 画像のサイズが50%の大きさに縮小されました⑦。



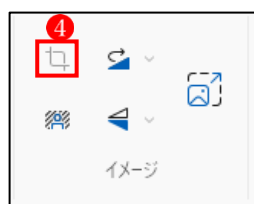
### (3) 画像の切り取り (トリミング)

ペイントで画像 (写真) を切り取って編集するには、「切り取る部分を選択」→「トリミング」という手順で行います。

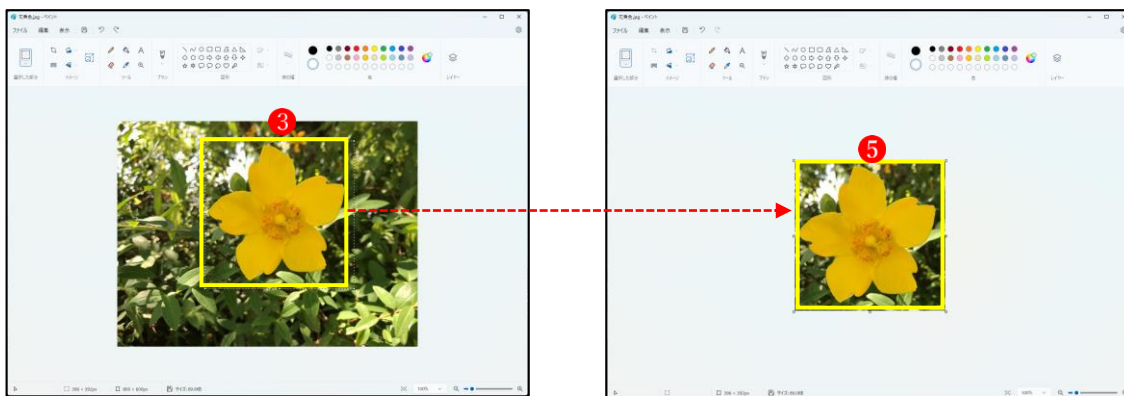
- ① 「イメージ」グループの「選択した部分」**①**をクリックして、選択方式を選択します。ここでは「四角形」**②**を選択しました。



- ② 写真の切り取りたい部分を選択します**③**。  
「イメージ」グループの「トリミング」**④**をクリックします。



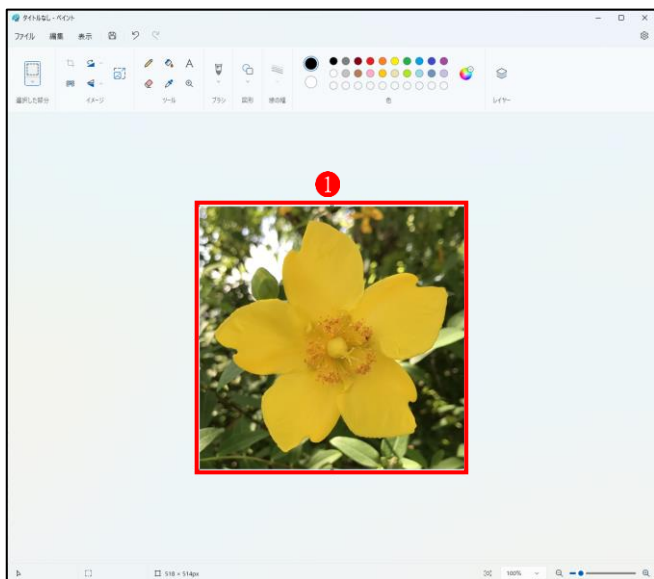
- ③ 写真の選択した部分が切り取られました**⑤**。



#### (4) 写真の背景を削除する

ペイントで写真の背景を削除する機能が追加されました。

- ① ペイントに、背景を削除したい写真を読み込みます①。

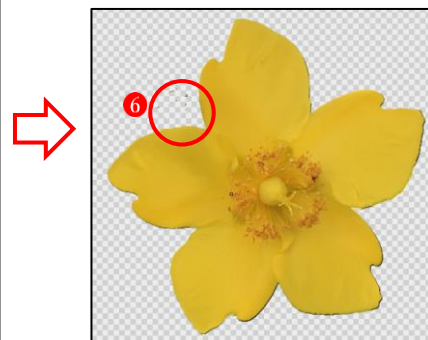
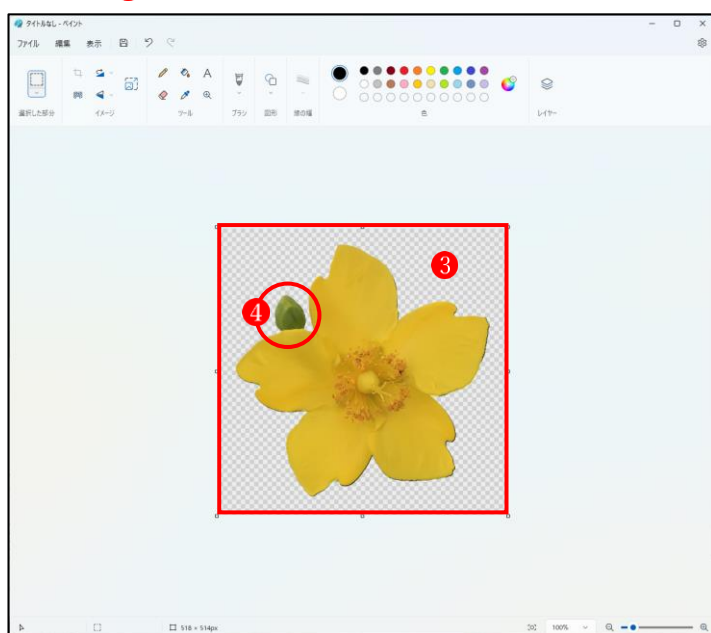


- ② 「イメージ」グループの「背景の削除」②をクリックします。



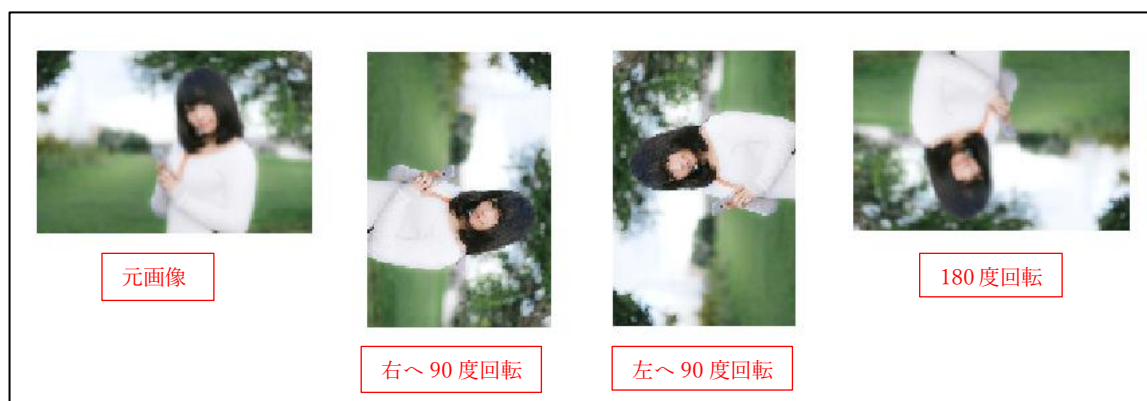
- ③ 写真の背景が削除されて透明になりました③。

うまく削除できなかった部分④は、「ツール」グループの「消しゴム」⑤を使って削除しましょう⑥。

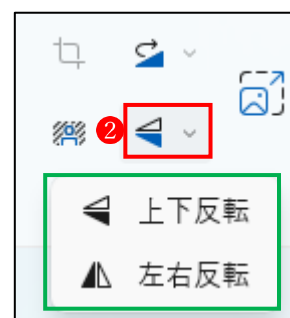


(5) 画像を回転・反転する

- ① 画像を回転するには、「イメージ」グループの「回転」<sup>①</sup>を使用します。



- ② 画像を反転するには、「イメージ」グループの「反転」<sup>②</sup>を使用します。

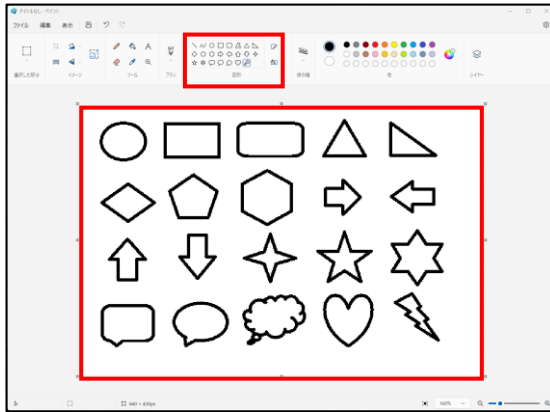




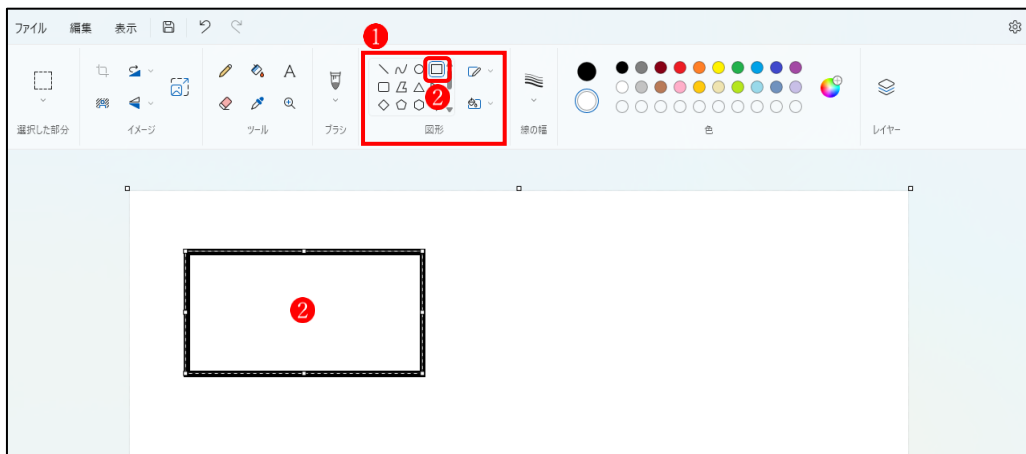
#### 4 図形の描画

ペイントでは、図形ツールを利用して、四角形、円、直線、多角形、星形、ハート型、矢印、吹き出しなど、さまざまな図形をきれいに描画することができます。

(1) 四角形・円・三角形・ハート形・星形・矢印・吹き出しなどの図形を描画する



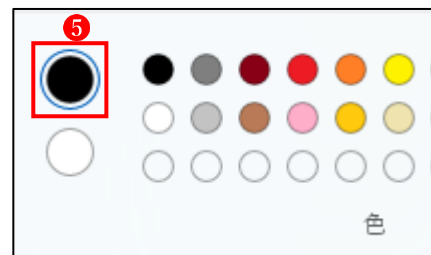
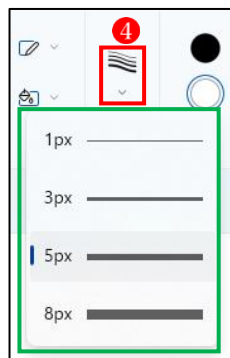
① 図形グループ①から目的の図形のアイコンをクリックしたら、キャンバス上で好みの大きさにドラッグします。ここでは例として、「四角形」②を描画します。



デフォルトでは、輪郭が「実線の枠線」、色が「黒」、線の幅が「5px」、塗りつぶしが「塗りつぶしなし」に設定されているので、上図のような四角形が描かれます。

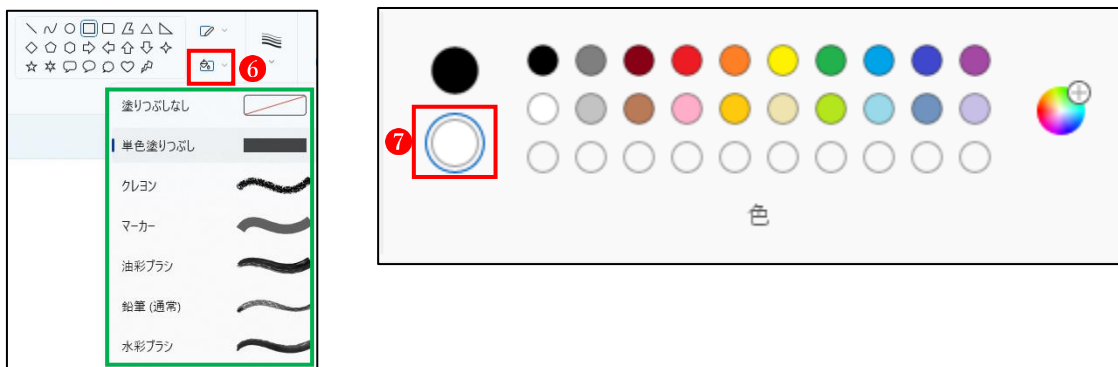
② 図形の輪郭の変更

- ・輪郭線の種類は、図形グループの「図形の輪郭」③で設定します。
- ・輪郭線の幅は、図形グループの「線の幅」④で設定します。
- ・輪郭線の色は、色グループの「色1（前景色）」⑤で設定します。

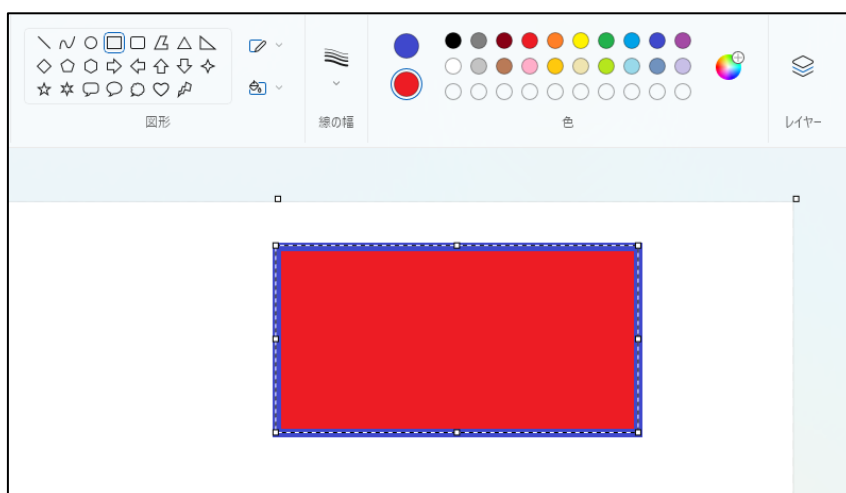


### ③ 図形の塗りつぶしの変更

- ・塗りつぶしの種類は、図形グループの「図形の塗りつぶし」**6**で設定します。
- ・塗りつぶしの色は、色グループの「色 2（背景色）」**7**で設定します。



【設定例】 輪郭線の種類：実線 輪郭線の幅：5px 輪郭線の色：インディゴ  
塗りつぶしの色：赤

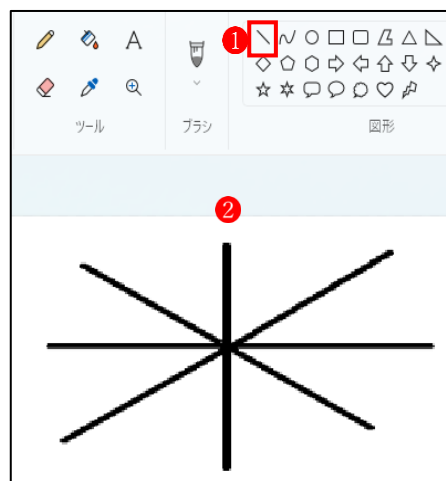


- ④ 描画が完了したら、キャンバスの何も表示されていない場所をクリックし、選択を解除します。

★ 選択を解除した後は、再度選択して編集することができないので注意が必要です。

### (2) 直線を描く

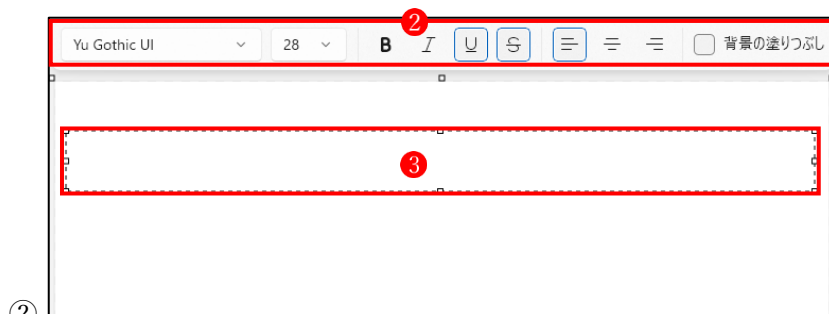
- ① 図形グループの「線」**1**をクリックし、キャンバス上で適宜の方向にドラッグします**2**。  
この際、Shift キーを押しながらドラッグすると、45度単位で直線を描画することができます。
- ② 必要に応じて、直線上にマウスポインターを合わせて場所を移動したり、線の端の「□」にマウスポインターを合わせて長さや角度を変更します。



## 5 ペイントの文字入力

### (1) 文字の入力

- ① ペイントで文字を入力するには「ツール」グループの「A (テキスト)」<sup>①</sup>を選択し、キャンバス上でクリックすると、下図<sup>②</sup>のようにテキストツールが起動し、文字が入力できるようになります<sup>③</sup>。テキストツールを使って、文字のフォントやサイズ、色などを変更することができます。



- ★ 本来は、先にフォントやサイズ、色などを設定してから文字を入力する手順であると思いますが、その手順を踏んで実行しても設定どおりには表示されず、既定で「YuGothic Ui」、「サイズ 10.5」、「黒色」で入力されます。

### (2) 文字の編集

ペイントで入力した文字は、テキストボックスで囲まれている間だけ編集できます。

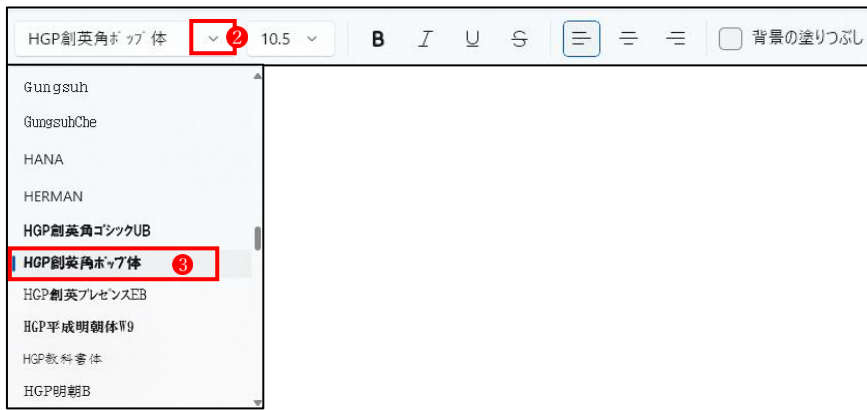
他のところをクリックするなどして、テキストボックスを消してしまうと、もう編集はできなくなってしまいますので、注意が必要です。もし、誤ってテキストボックスを削除してしまった場合には、画面左上の『戻る』ボタンをクリックして、もう一度文字を入力するところからやり直します。

#### ① フォントの変更

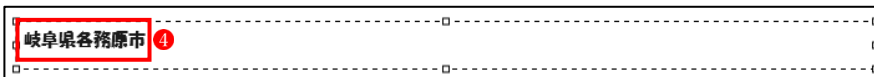
ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。



フォントの変更は、下図の「▼」<sup>②</sup>をクリックします。この中から好きなフォント<sup>③</sup>を選びます。また、このときキーボードから数字を直接入力すると、選択肢にはない数字に変更して、大きさを設定することも可能です。



フォントが変更されました④。

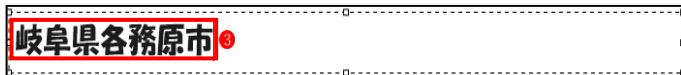


② フォントサイズの変更

ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。

フォントサイズ(文字の大きさ)の変更は、右図の「▼」①をクリックして、この中から好きなサイズ②を選びます。

フォントサイズが変更されました③。

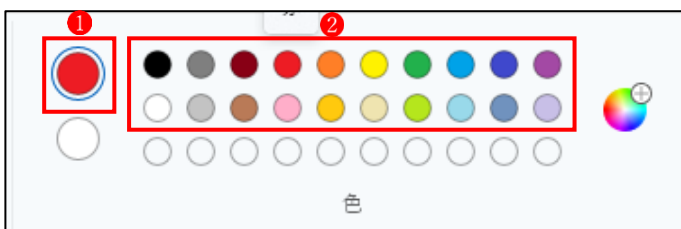


③ 文字色の変更 (文字の色は「色1 (前景色)」で設定します。)

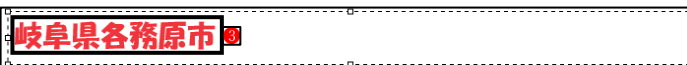
★ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。

まず、「色1」①をクリックします。

次に、右側の色の種類②から好きな色を選んでクリックします。



フォントの色が変更されました③。

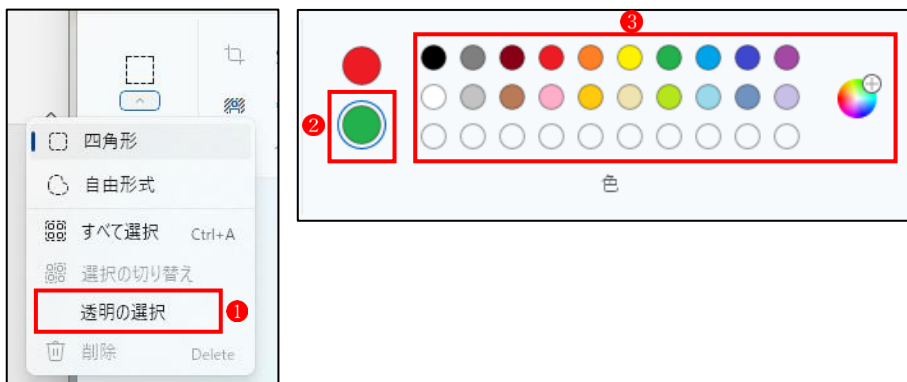


★このとき、色の変更が一度でうまくいかない場合があります。その場合は、上記の操作 (手順→①「色1」をクリックする→②好きな色をクリックする) を何度かやり直してみます。

#### ④ 背景の透明／不透明

ペイントで背景を「不透明」(※「透明の選択」にチェックを入れない。)①にします。  
次に「色 2」②をクリックし、右側の色の種類③から好きな色を選んでクリックします。  
最後にテキストツールバーの「背景の塗りつぶし」④をクリックします。  
例えば、こんな感じです。

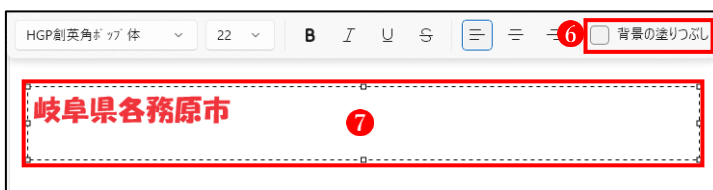
背景：不透明 色 1：赤 色 2：緑



テキストボックス内の背景が塗りつぶされました⑤。

★ 背景を元の色に戻すには、「背景の塗りつぶし」⑥のチェックを外します。

背景が元の色に戻りました⑦。



#### ⑤ テキストボックスの枠

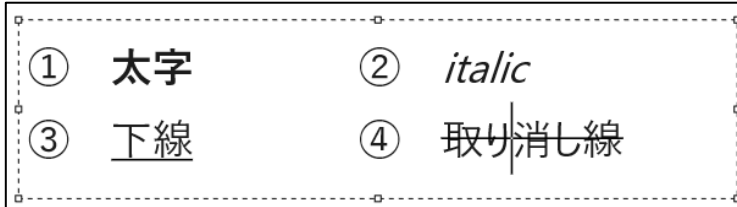
テキストを入力する際に現れる点線の枠を「テキストボックス」と言います。  
このテキストボックスには、上下左右の真ん中と四隅に「□マーク」がありますが、ここにマウスのカーソルを近づけると「両矢印」に変化し、これを動かすことで、テキストボックスを大きくしたり小さくしたりすることが可能になります。  
たとえば、下図のようにテキストボックスの枠を文字に合わせて縮小することができます。



⑥ その他のテキストツール

入力した文字に対する太字やイタリック体などの装飾は、入力した文字を選択し状態で適用したい装飾のボタンをクリックするだけで設定できます。

①太字 ②italic ③下線 ④取り消し線



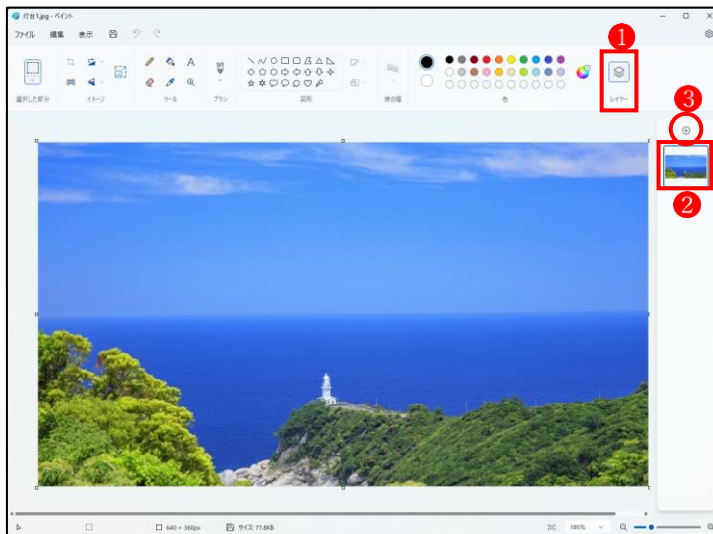
6 レイヤーの使い方

レイヤーとは複数の透明な紙を重ねて描く事ができるようなイメージです。レイヤーを分けることで、各レイヤーに影響を与えずに絵を描くことができます。また、「背景の削除」を併用することによりかんたんに画像合成をすることができます。

(1) レイヤーを追加する

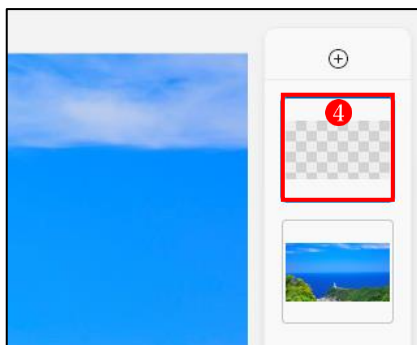
① 「ファイル」タブから「開く」をクリックして、キャンバスに背景にしたい画像ファイルを読み込みます

② 「レイヤー」①をクリックします。→「レイヤー1」②が表示されます。

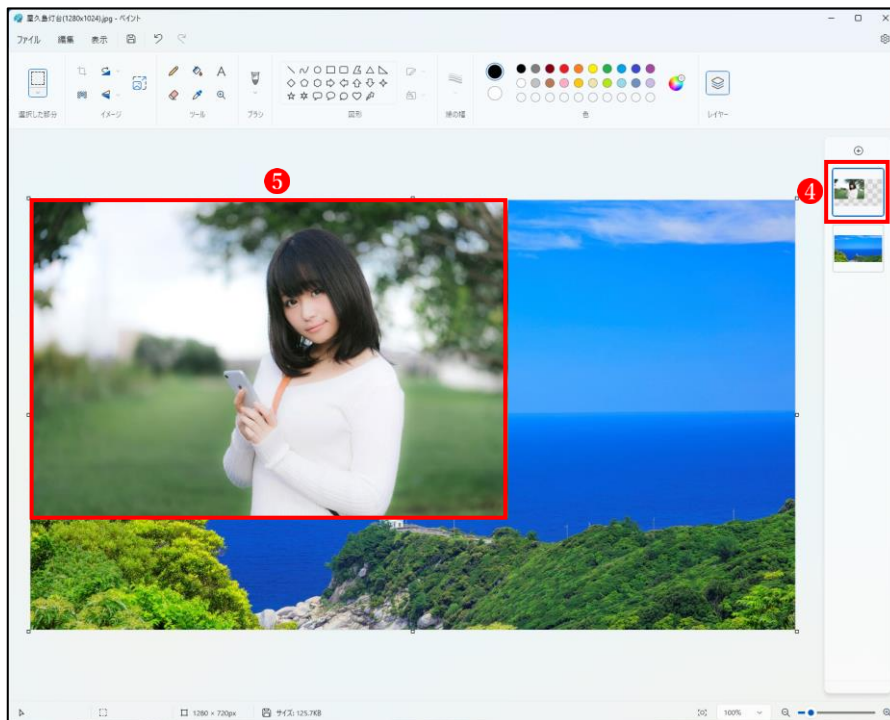


③ 「+」ボタン③をクリックします。

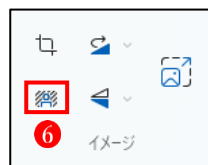
→「レイヤー1」の上に「レイヤー2」④が追加されます。



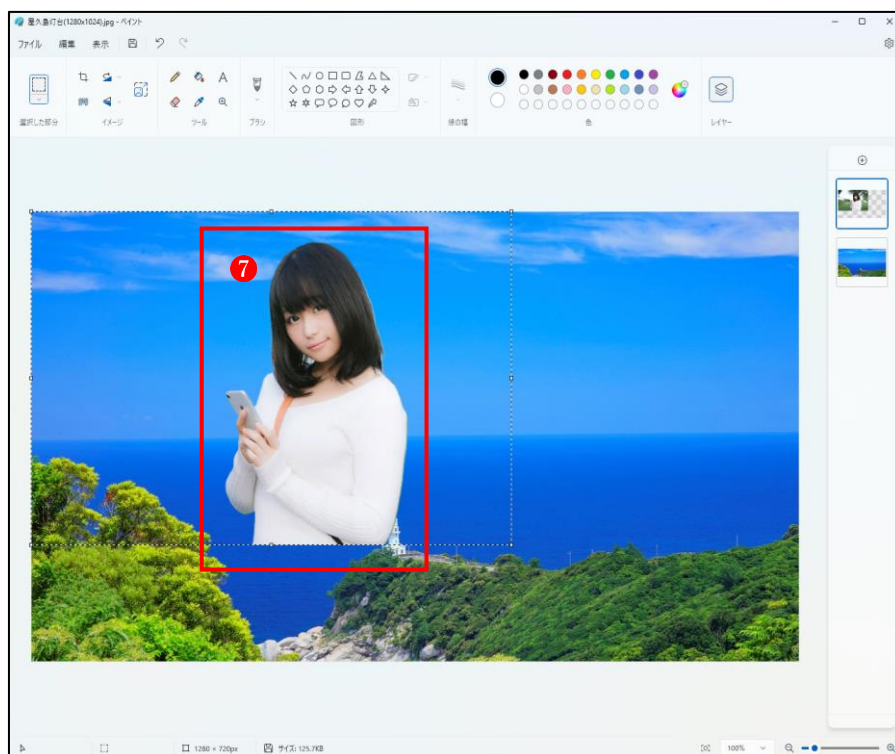
- ④ 「レイヤー2」④をクリックして選択し、ここに別の画像（※ここでは女性の画像）をインポートします⑤。



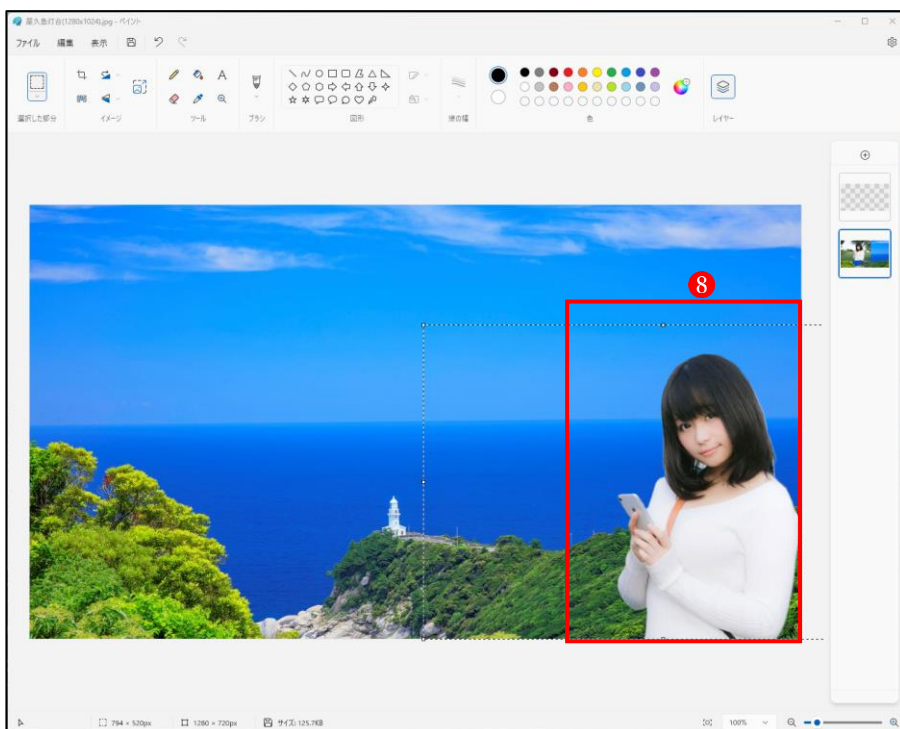
- ⑤ インポートした画像の上で、イメージグループの「背景の削除」⑥をクリックします。



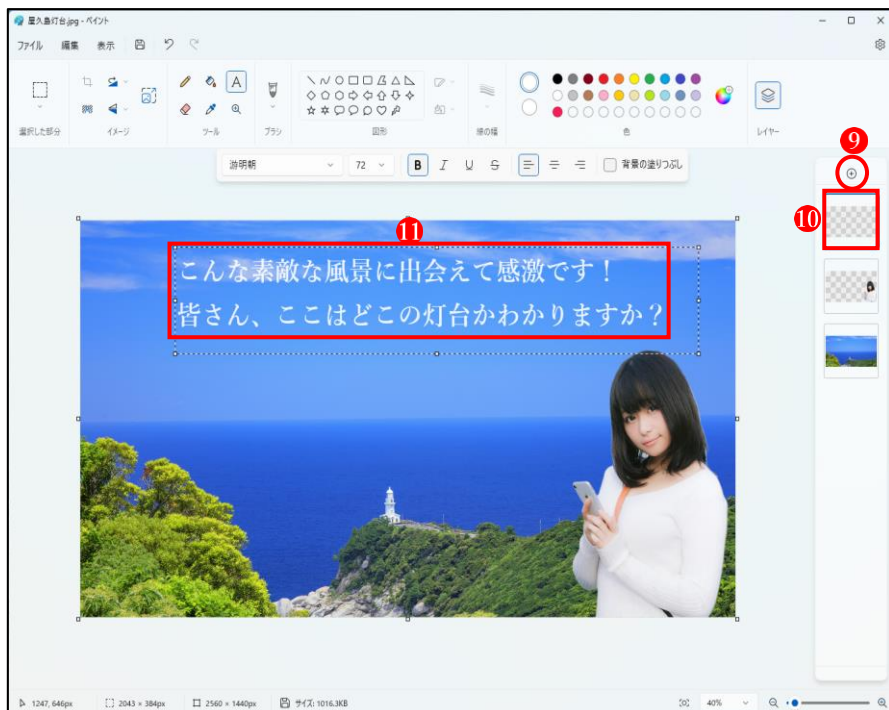
- ⑥ インポートした画像の背景がきれいに削除されて、女性だけが残りました⑦。



- ⑦ この画像を必要に応じて拡大・縮小し、ドラッグして適当な位置に移動します⑧。

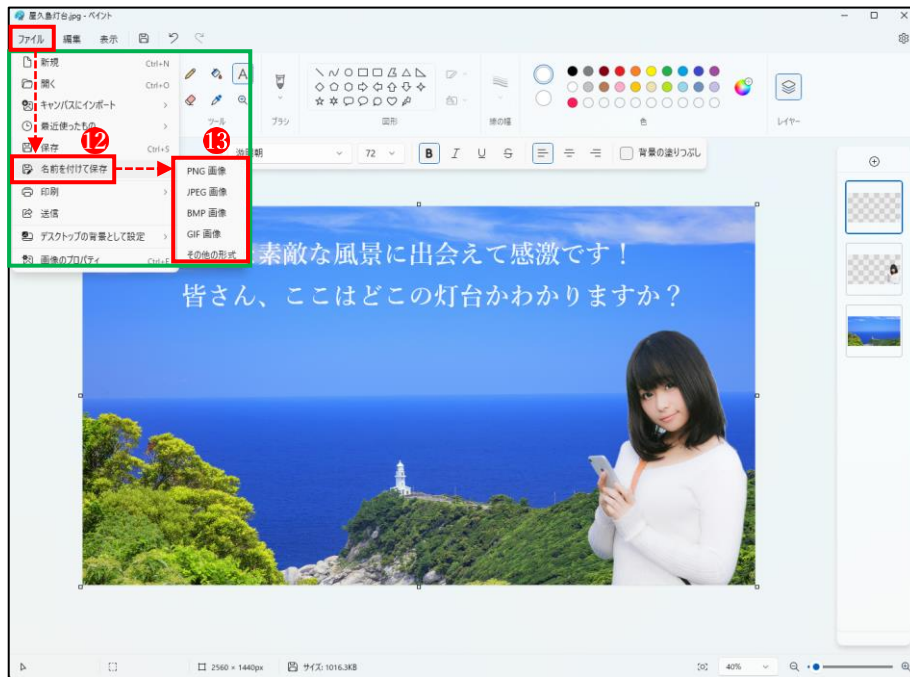


- ⑧ この画像にテキストツールを使って文字を追加します。  
まず、レイヤーの「+」ボタン⑨をクリックして「レイヤー3」⑩を追加します。  
テキストツールを使って文字を入れ、文字のフォント、サイズ、色などの装飾をつけます⑪。





- ⑨ 編集がすべて終わったら、「ファイル」→「名前を付けて保存」<sup>12</sup> から、好きなファイル形式（PNG 画像、JPEG 画像など）<sup>13</sup> で保存します。



## 最後に

ペイントで編集した画像は、最終的に PNG や JPEG の平面的な画像としてしか保存できないので、後でこのファイルを読み込んで再編集することができません。したがって、ペイントを使用する目的としては、本格的なペイントアプリとしてではなく、豊富なツールを便利な道具として使う（例：写真のサイズの縮小、切り抜き、背景の削除など）のに適しています。